

沖縄における  
海上保安の現況

昭和60年8月

沖縄県立図書館



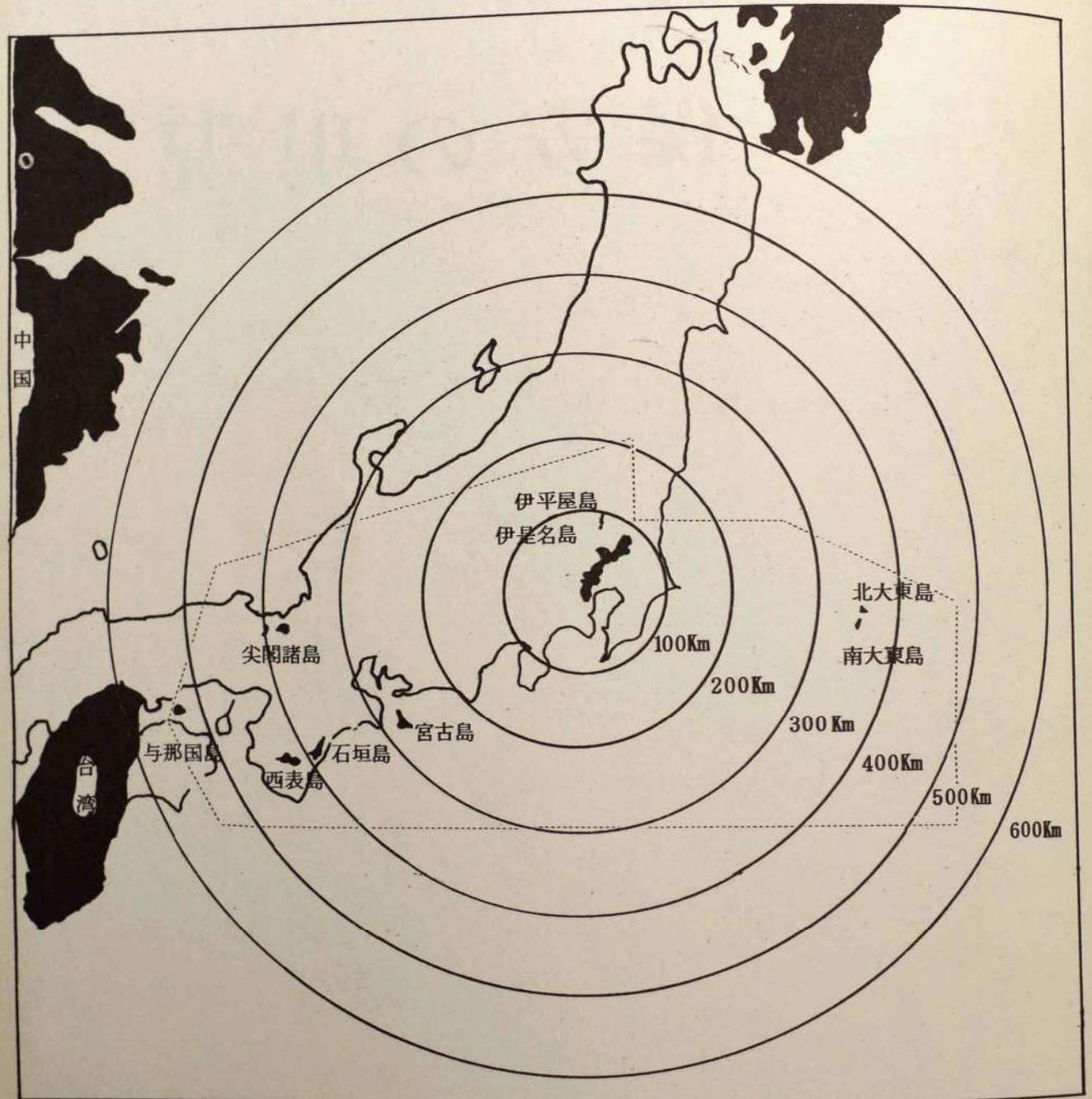
1005821929

第十一管区海上保安本部

17

9

# 沖縄県と他府県との距離の比較図



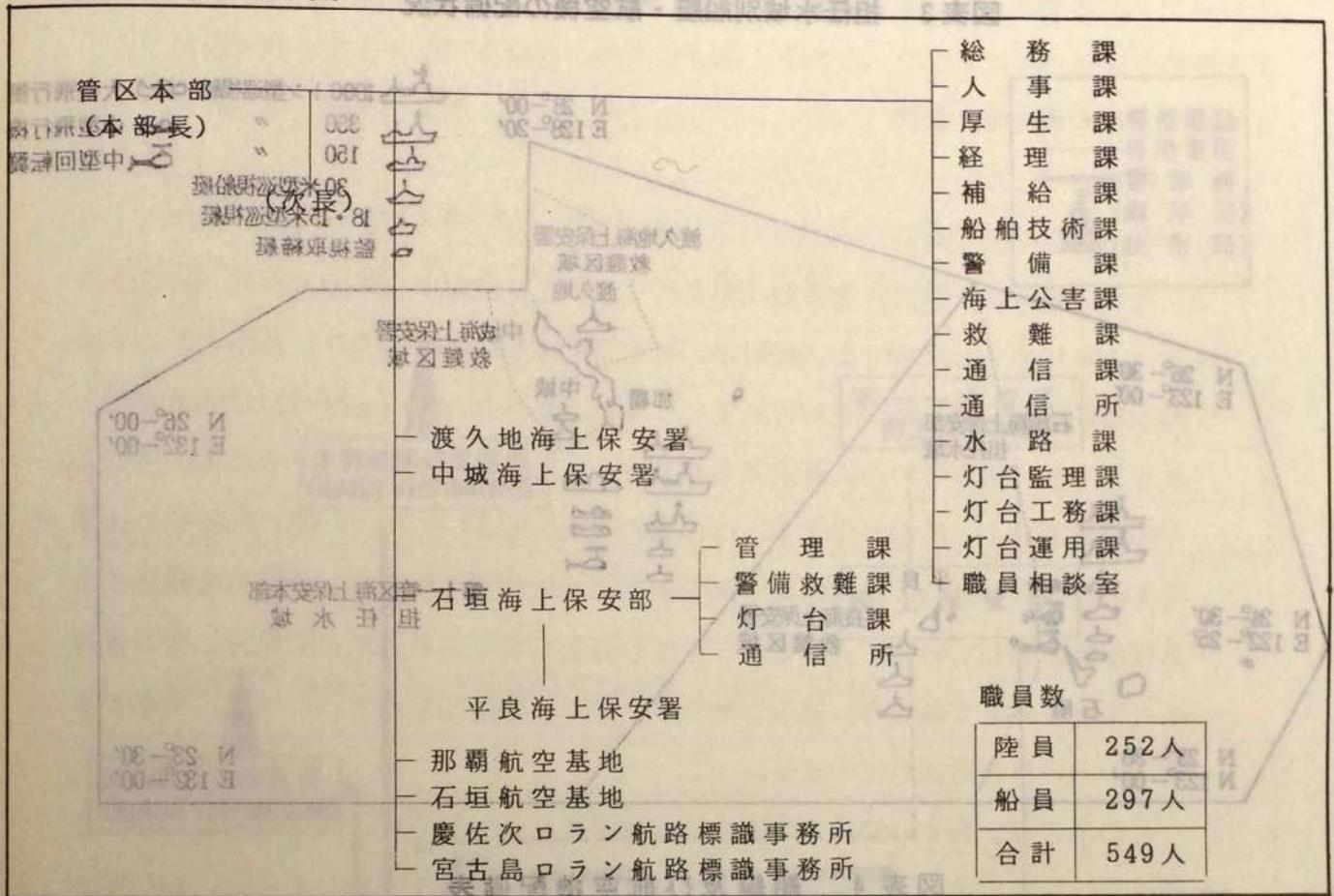
那覇市を東京の位置にあわせたもの。

# 目 次

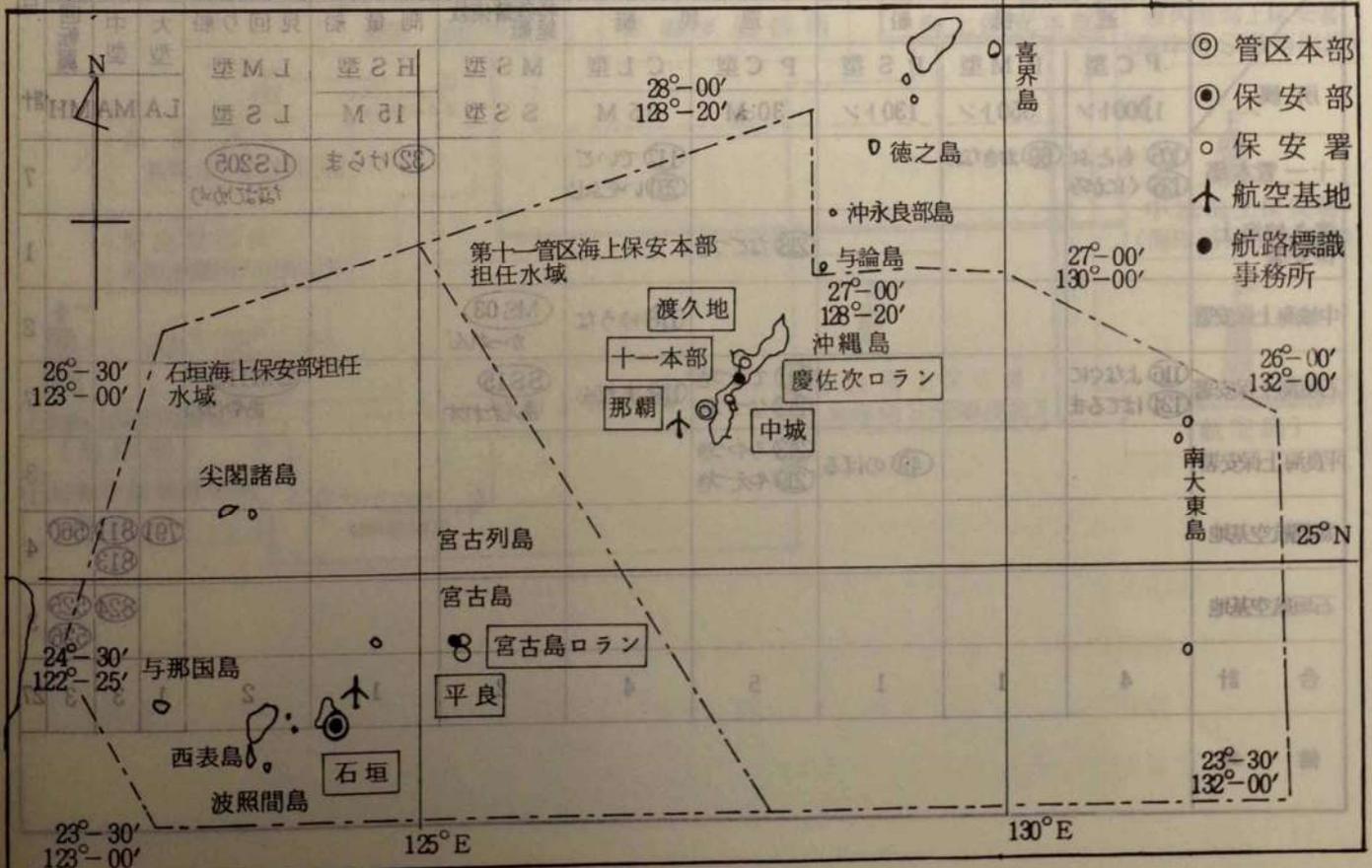
<b>第1章 海上保安体制の現状</b> .....	1
1 組織及び人員 .....	1
2 船艇及び航空機 .....	1
3 海上保安通信 .....	2
<b>第2章 海上治安の維持</b> .....	6
1 領海及び周辺海域の警備 .....	6
(1) 領海警備 .....	6
(2) 外国の海洋調査船に対する警備 .....	8
(3) 漁業水域内での外国漁船の監視取締り .....	9
2 海上犯罪の取締り .....	11
(1) 海事関係法令の違反 .....	12
(2) 漁業関係法令の違反 .....	12
(3) 刑法犯 .....	13
(4) 出入国関係法令の違反 .....	13
(5) 貿易関係法令の違反 .....	13
(6) 海上公害関係法令の違反 .....	14
3 海上の警備 .....	14
4 トピックス .....	15
<b>第3章 海難救助と海上交通の安全確保</b> .....	16
1 海難の発生状況 .....	16
2 海難の救助状況 .....	20
3 急患輸送の状況 .....	21
4 海難の救助 .....	22
(1) 海難情報の収集 .....	22
(2) 海難救助体制 .....	24
(3) SAR条約への加入と海上保安の対応 .....	25

5	海上交通の安全確保	26
(1)	港内における安全対策	26
6	各種船舶の安全対策	27
(1)	旅客船・カーフェリー	27
(2)	タンカー	28
(3)	漁船・プレジャーボート等小型船舶	28
(4)	外国船舶	28
7	海難防止思想の普及	29
8	トピックス	30
9	課題	31
<b>第4章 海上防災体制</b>		
1	海上災害の現状	32
2	自然災害対策	32
3	流出油等の防除対策	33
(1)	原因者側の体制	33
(2)	第十一管区の体制	34
(3)	関係機関との協力	34
(4)	その他	34
4	海上消防対策	34
(1)	原因者側の体制	34
(2)	第十一管区の体制	35
5	大型タンカーバースの防災対策	35
6	海上災害防止センター	35
<b>第5章 海洋汚染の現状と防止対策</b>		
1	海洋汚染の現状	37
(1)	種類別汚染の状況	39
(2)	排出源別汚染の状況	39
(3)	原因別汚染の状況	39

図表1 組織図



図表2 管区本部の事務所等の配置及び担任水域図



## 第 2 章 海上治安の維持

### 1 領海及び周辺海域の警備

#### (1) 領海警備

##### イ 領海侵犯船の取締り

海邦沖繩の島々は四方を領海で囲まれています。海岸から沖合12海里（約22キロメートル）までが領海です。領海は、基本的には領土と同じです。領海においては、外国船舶の無害通航権は認められていますが、我が国の許可がなければ漁業を行ったり正当な理由がないのに停泊するなどの不法行為をすることは許されていません。

領土と同じく、領海を守ることは、国の主権を守ることであり、極めて重要な仕事です。第十一管区は、巡視船艇や航空機によって昼夜の別なく、領海内を航行する外国船を監視しています。そして、不法行為をしている外国船舶を発見したとき直ちに警告を与えて領海外へ退去させたり、また、悪質なものについては、検挙するなどの取締りを実施しています。

このような、第十一管区の嚴重な領海警備にもかかわらず、領海侵犯船はあとを絶たない状況であり、59年には137隻の外国船舶が領海を侵犯しました。そしてこのうち悪質なもの11隻を検挙しました。

これを海域別にみると次のとおりです。

##### (イ) 尖閣諸島

尖閣諸島の周辺海域においては、多数の台湾漁船や中国漁船による操業が行われています。特に毎年3月末から5月中旬にかけては、多数の中国底びき漁船が領海近くまで接近して操業しております。

このため、この海域には、常時大型巡視船を配備するとともに航空機による監視体制の強化を図っています。

59年には、尖閣諸島周辺の領海内に侵入して漁業を行ったり、または、うろついたりする81隻の領海侵犯船を確認し、領海外に退去させました。このうち、3隻は韓国漁船でしたが、その他はすべて台湾漁船です。

##### (ロ) 沖繩群島、宮古・八重山列島

沖繩群島、宮古・八重山列島周辺の領海内でも、時おり外国漁船が侵入し漁業をするなどの領海侵犯を行っています。

59年には「はえ縄漁業」を目的とした台湾漁船51隻の領海侵犯を確認して領海外に退去させましたが、このうち悪質なもの11隻については「外国人漁業の規制に関する法律」違反で検挙し送致しました。

図表6 領海侵犯状況（59年）

（単位：隻数）

領域	区分	不法操業	停泊・徘徊等	合計
尖閣諸島		20(1)韓	61(2)韓	81(3)韓
宮古・八重山列島		11	41(1)ソ	52(1)ソ
沖縄群島		1	3	4
計		32(1)韓	105(3)	137(4)

（注）（ ）内は韓国船及びソ連船を再掲。その他はすべて台湾船。

図表7 領海侵犯船と検挙状況の推移（55年～59年）

（単位：隻数）

内訳	年	55	56	57	58	59
領海侵犯船		197	153	149	131(6)	137(4)
検挙		5	2	10	7	11

（注）58年（ ）内は中国船、59年（ ）内は韓国船及びソ連船を再掲。その他はすべて台湾船。

### 領海侵犯漁船の取締り



ロ 緊急入域船に対する警備

台風等の悪天候を避けるため、または、機関が故障するなどの海難のため、あるいは航海中に急病人が発生した場合などの緊急事態を避難するために、59年には219隻が緊急入域船として領海内に入ってきました。

第十一管区は、これらの外国船舶に対して、必要な救援を行うとともに緊急入域する正当な理由があるかどうかを調査しています。緊急入域の目的を果たしたものと緊急入域要件に当てはまらないものについては、速やかに領海外へ退去させ、我が国の領海を守っています。

図表 8 緊急入域船の状況 (59年)

(単位：隻)

理由 \ 国名	台湾	パナマ	フィリッピン	インドネシア	韓国	その他	合計
荒天を避けるため	137	34	8	8	2	8	197
海難のため	6	3	4	1	2	—	16
急病人発生のため	1	1	1	1	1	1	6
計	144	38	13	10	5	9	219

(2) 外国の海洋調査船に対する警備

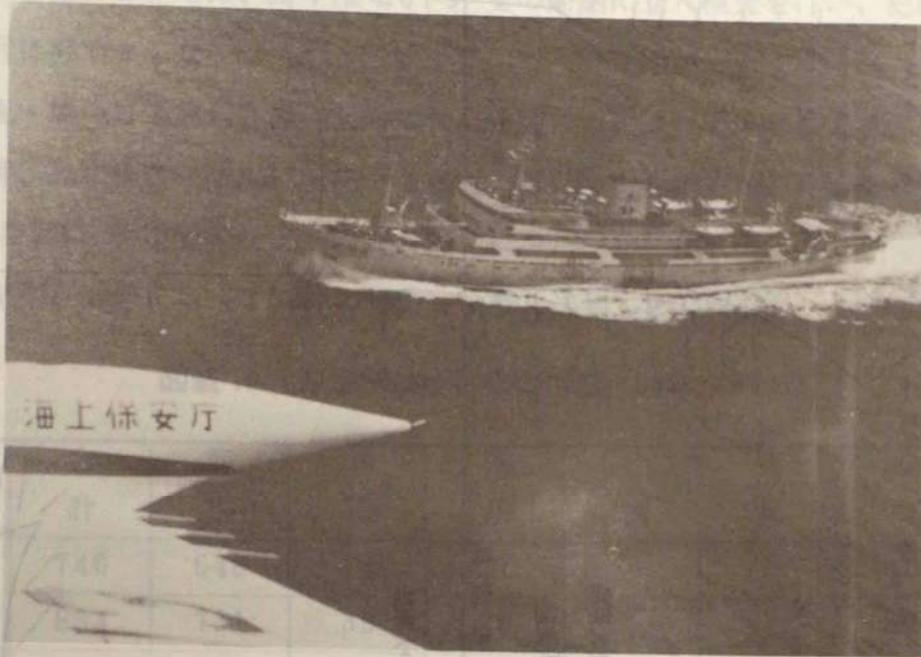
我が国の周辺海域においては、外国の海洋調査船による海底資源等の調査が活発に行われています。沖縄県の周辺海域も例外ではありません。

我が国の海岸から沖合にかけて比較的浅い、棚状をしている水深 200メートルまでの海底を一般に大陸棚と呼んでいます。この大陸棚については、領海の外側であっても海底資源等の調査について、沿岸国の管轄権が国際的に認められています。

従って、我が国の大陸棚で外国が海底資源等の調査をするためには、我が国の同意が必要です。我が国の同意もなく外国船舶がこれらの調査をするのを防ぐため、第十一管区においては、沖縄県周辺の大陸棚海域を巡視船艇や航空機で監視警戒を行っています。

59年には、この海域において、外国海洋調査船 9 隻を確認し、追尾警戒を行うと共に、また、無断で海底資源の調査を行っていた外国の海洋調査船 2 隻に対し調査を中止させるなどして、我が国の権益保護に努めました。

## 外国海洋調査船の監視



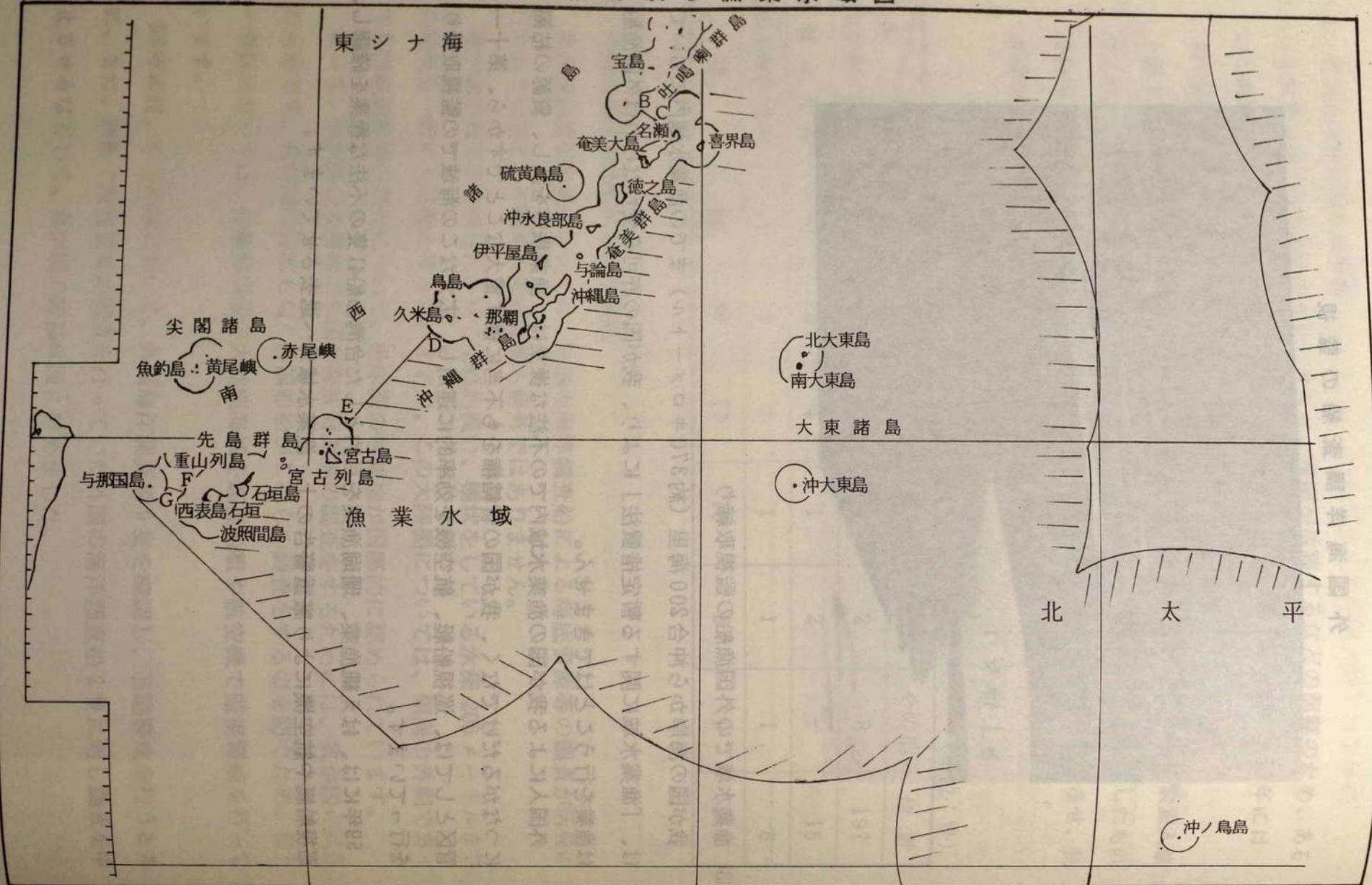
## (3) 漁業水域での外国漁船の監視取締り

我が国の海岸から沖合200海里（約370キロメートル）までの漁業水域内においては、「漁業水域に関する暫定措置法」により、我が国の許可を受けなければ外国漁船は漁業を行うことはできません。

外国人による我が国の漁業水域内での不法な操業は、漁業秩序を乱し、資源の枯渇につながるだけでなく、我が国の管轄権をも不当に侵す重大なことから、第十一管区としては、巡視船艇、航空機を効率的に運用し、広大なこの海域での監視取締りを行っています。

59年には、はえ縄漁業、珊瑚漁業を目的とした台湾漁船41隻の不法な操業を確認し、巡視船艇や航空機により嚴重警告の上、漁業水域外へ退去させています。

図表9 領海及び漁業水域図



#### 4 トピックス

##### 第一豊漁丸衝突逃走事件

60年4月7日沖縄県久米島北西74海里（137キロメートル）沖において、船首部分を海面上に出して漂流中の第一豊漁丸（17総トン）を付近にて操業中の漁船が発見、第十一管区に通報してきました。第十一管区においては、情報を入手するや、航空機及び巡視船2隻を現場に急行させ付近海域及び船内の捜索を実施、また行方不明者5名については、25日間にわたり尖閣諸島周辺から奄美大島に至る海域を延べ巡視船艇150隻、当庁航空機延べ54機、海上自衛隊機延べ8機を投入捜索を実施しましたが、手掛りはまったくつかめず5月1日日没をもって専従捜索を代ち切りことになりました。

一方、第一豊漁丸船体を陸上に揚げ実況見分をしたところ衝突したことが判明、悪質なあて逃げ事件として第一豊漁丸衝突逃走事件捜査本部を設置して、衝突加害船舶について全国に手配中のところ、香川県坂出港に入港中のリベリア船籍LPGタンカー、ワールド・コンコルド号（3万9千総トン）を割り出しましたが衝突位置が公海上と断定、5月1日第一豊漁丸衝突逃走事件捜査本部を解散しました。

##### 船首部を出して漂流中の第一豊漁丸

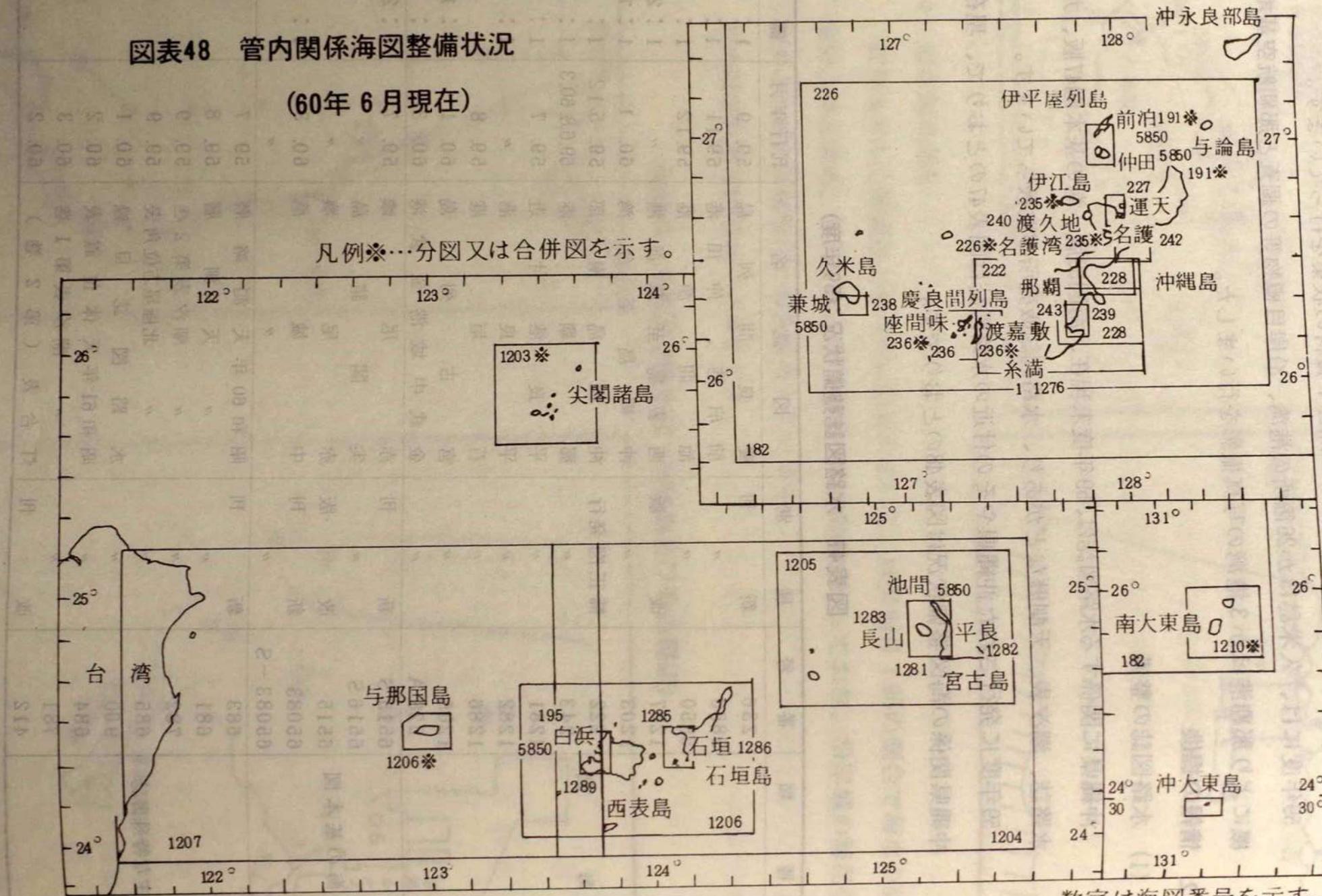




図表48 管内関係海図整備状況

(60年6月現在)

凡例※…分図又は合併図を示す。



数字は海図番号を示す。